

ファーストペンギン通信

第2号

2025年5月7日(水)

発行人

八王子実践中学校

教頭 石川 敦史

令和7年度入学式

令和7年4月8日(火) J: COMホール八王子にて午前10時より開催されました。

在校生の役割

入学式で新入生を迎えることを心待ちにしていた在校生がさまざまな役割を果たしてくれました。



受付でお名前をうかがい、新入生を会場の座席まで案内します。先輩たちの声かけにより新入生の緊張した表情も和らいでいきました。開式までにはクラスメイトと打ち解けた様子も見られました。



開式後はまず、校長先生から中学と高校の新入生に入学許可が与えられました。新入生のみなさんの引き締まった表情が印象的でした。

校長式辞



校長先生からは「学ぶことの意義」についてお話があり、「世のため、人のためになるように知識・技能を身につけ、思考力・判断力・表現力を磨いてほしい」と語られました。

歓迎の辞



3年生の生徒会長・須賀陽愛子さんから新入生に向けて、「本校は1学年1クラスと少人数です。そのため学年の枠を超えて、さまざまな行事をおこないます。3学年合同の宿泊研修旅行や校外学習では他学年との交流を深めることができます。事前・事後の学習では、先生方からだけでなく、先輩や後輩からも学ぶべきことがたくさんあります。また、高校生と合同でおこなう体育祭や明鏡祭はお互いに力を合わせて盛り上がります。

これから八王子実践中学校で過ごす日々は、必ず将来の宝物となるでしょう。そしてここにいる私たちは、生活を共にする仲間です。八王子実践中学校で過ごす大切な青春の1ページを仲間と共に駆け抜けていきましょう。」という歓迎のことばが贈られました。

答辞

新入生代表・河野叶芽さんが歓迎の言葉に答えました。これから始まる中学校生活で大切にしたいこととして、



「クラスメイトと協力していくことです。中学校での学習は小学校に比べて難しくなると思いますが、わからないことがあってもクラスメイトと共に考えていくことで、苦手な教科をなくし、得意な教科はさらに伸ばせるようにしていきます。時には、先生方や先輩方にアドバイスをいただき、視野を広げ理解を深めていきたいです。また、将来は社会という大きな扉があります。その扉を開けるために必要な知識や礼儀などを身に付けていくことを目標にして何事にも前向きに取り組んでいきます。」と述べました。

最後に、仲間と協力し励まし合って、中学生らしい学校生活を送っていくことを約束してくれました。



入学式終了後には部活動の新入生歓迎パフォーマンスがおこなわれました。まず、吹奏楽部の演奏に合わせて、書道部が新入生に向けてのメッセージを書き上げ、チアリーディング部が演技を披露しました。



そのあと、18の運動部、16の文化部の代表者が一言ずつ活動紹介をしました。そのなかには3年生が活躍している姿も見られました。

新入生のみなさん、気になる部活はありましたか？



記念撮影の前には担任の大日方先生から学級通信が配付され、初めてのホームルームが開かれました。

いよいよ中学校生活のスタートです。これからの生徒のみなさんの活躍を期待しています。

新しいことに挑戦しつつ、何事も楽しんでいきましょう！

